

養豚経営支援システム



POINT

- ✓ 導入農場数100突破！
- ✓ 市場シェア13%（母豚数換算）

「Porker」は、農場で起こっていることを見える化し、生産管理効率の改善や課題の早期発見、最適な意思決定を可能にするクラウドサービスです。テクノロジーを使って養豚経営をサポートし、農場成績と売上を向上させます。これまでの実績として、導入後は*平均7%の生産性アップを実現しています。*初年度平均総産子数

Eco-Pork
Product lineup

農場の課題をPorkerで解決！

Before

手書き→PC入力
の二度手間...

ウィークリー管理の1週分のデータを週1回、手書き台帳から2時間程度かけてPCに入力

After

スマホやタブレットの
現場入力で解決！

スリーセブン管理に変更し、登録するデータが1週間分から3週間分に増えてもPorkerへの入力は30分程度



Before

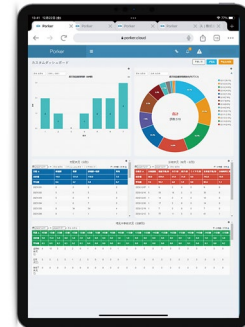
データの共有に
時間がかかる...

報告書が1ヵ月毎にFAXで届く

After

クラウドの
データ管理で解決！

Porker上でリアルタイムに確認、現場に出なくても農場の状況がいつでも把握できる



Before

ベテランの経験に
頼ることが多い...

ベテランの勘・コツ・経験が判断基準

After

データを基準に
判断して解決！

経験が浅くてもPorkerのデータを基準に、判断し作業できる

Before

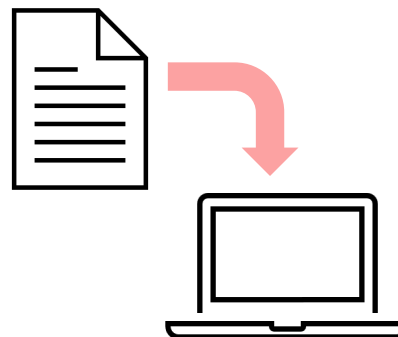
管理者の月次集計の
負担が大きい...

証憑類の印刷と確認、エクセルの月次集計など管理者の作業が多い

After

書類の削減、確認の
簡素化で解決！

Porkerのデータを使うことで集計作業と証憑類の作成がなくなり、確認ルートの簡素化も実現



Porkerで目標が実現可能に

全ステージのデータを一元管理
農場状況の見える化で課題を発見し、生産性・売上UP！

・ 端末を選ばないクラウドシステム

スマホ・タブレット・PCで、いつでも、どこでもデータ入力、確認

・ 充実の分析機能

様々な分析軸で課題を発見、PDCAサイクルを継続的に回せる

・ 導入効果を引き出す伴走型サポート

トラブルや不明点はLINEや電話で丁寧にサポート。ユーザーの声を反映したアップデートも随時実施

出荷データ



FCR・上物率などの農場状況を把握し、早期の対策で生産性向上に寄与。トレーサビリティ確保にも活用できる。

肥育データ

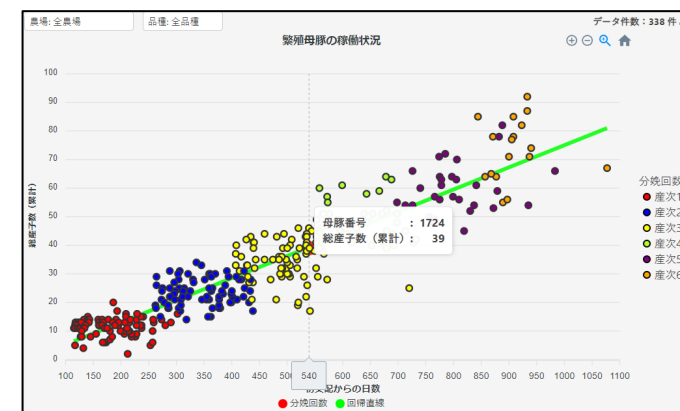


豚群の在庫、日齢、投薬、ワクチン接種記録、休薬解禁日の把握ができ、肥育豚群の状態を一目で確認。

繁殖データ



母豚毎はもちろん、群や時期別のデータ分析が可能。母豚カード、データの出力も容易で作業性UP。



環境モニタリングデータ

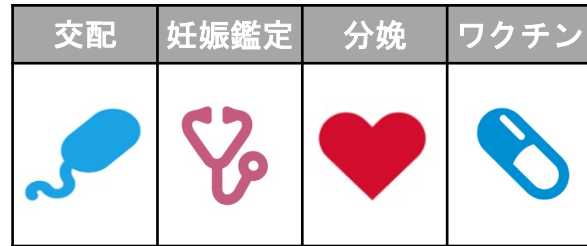


各種センサーと連携し、モニタリングや操作が可能に。

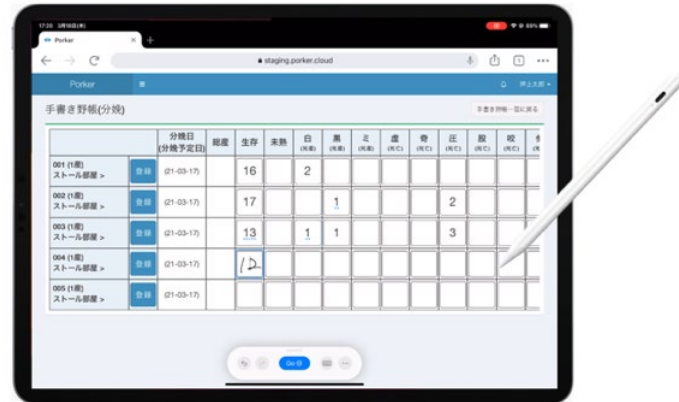


Porkerの特長

①わかりやすい入力アイコン



②手書き入力ができるデジタル野帳



③グラフで見やすい生産進捗管理



④誰でも生産性の低い豚がわかる

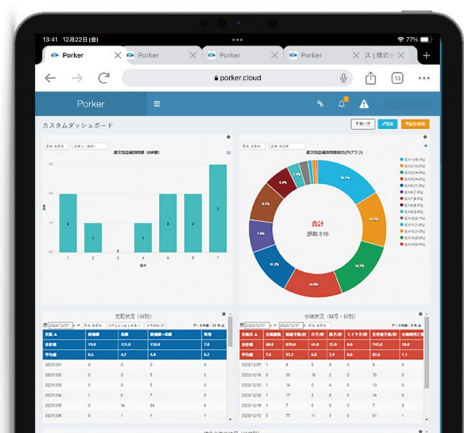
離乳頭数や平均事故頭数の多い母豚にレッドカードがついている例→廃用の判断材料に

母豚	産次(産乳時)	産乳日	最新のイベント	生存産子数	種付け後異常	離乳頭数	平均事故頭数	種付け後日数	廃用選別	廃用日	詳細
1	AA005	2023-03-08	産乳	16		2			廃用	出荷	詳細
2	AA005	2023-03-08	産乳	17		1			廃用	出荷	詳細
3	AA005	2023-03-08	産乳	13		1			廃用	出荷	詳細
4	BB048	2023-03-08	産乳	12		1			廃用	出荷	詳細

母豚A

ユーザーの声から生まれた新機能／

⑤カスタムダッシュボードで部門ごとに見たいデータを選んで表示



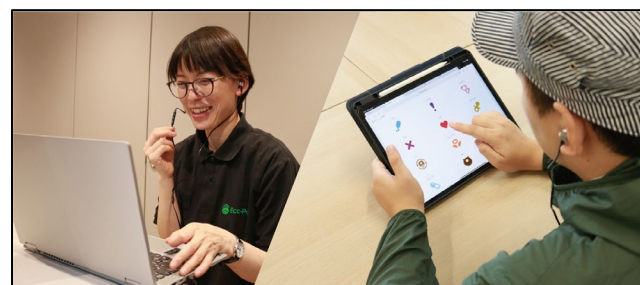
繁殖部門の例：受胎・分娩率



集計期間内の交配数、分娩数、受胎率、分娩率を複合グラフ化



⑥カスタマーサクセスチームの伴走型のサポートで、デジタル初心者も安心



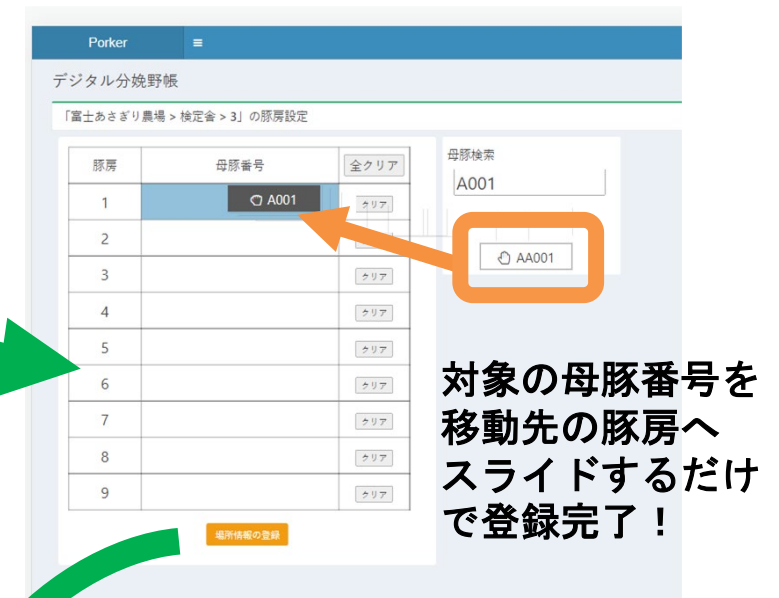
- 導入支援
- 迅速なお問合せ対応（公式LINE、電話、メール）
- 生産性改善につながる運用方法の提案
- 運用を軌道に乗せる定期的なサポート

実際の作業とPorker登録の流れ～母豚の移動、分娩～

①分娩舎へ移動



②現場で母豚番号を見ながら場所登録できるので、入力ミスが防げる



③分娩



④現場で直接データ入力
多岐にわたる分娩データが容易に
取得でき、分析幅が広がる！



令和2～3年度スマート農業実証プロジェクト報告

スマート農業実証プロジェクトにて生産者（母豚数600頭）のPorkerの利用により、**7,980万円**の売上高増（実証結果による試算）が報告されました。

分娩腹数	開始前の成績	開始後の成績	備考
分娩回転率	2.32	2.45	+0.13
総産子数/腹	12.4	14.7	+2.3
死産/腹	0.9	1.2	+0.3
生存産子数/腹	11.5	13.5	+2.0
哺乳中事故/腹	0.6	1.9	+1.3
離乳頭数/腹	10.9	11.6	+0.7
離乳頭数/母豚/年	25.3	28.8	+3.5

【対策】

- ・分娩腹数の確保
- ・母豚成績に基づく廃用基準への更新
- ・更新率（産歴構成）の最適化

Porkerを活用したPDCAサイクルの実行により上記を実現
付随効果として、記録負担は1/10に減少

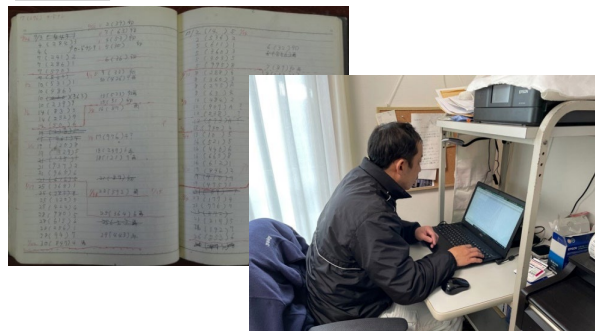
令和3年度Porker 千葉県庁プロジェクト事例

千葉県庁プロジェクトにて生産者（母豚数230頭）でのPorkerの利用により、**年約1,450万円**（実証結果による試算）の売上改善効果が報告されました。

同一期間で比較	慣行区	Porker区	備考
記録方法	紙・Excelへの記入	スマートフォンでの記録	—
集計の特徴	群管理記録で簡易	個体管理記録で緻密	低生産性母豚が発見しやすくなった
母豚回転率	2.18	2.30	+0.12
離乳頭数（頭/腹）	10.6頭/腹	10.9頭/腹	+0.3頭/腹
出荷頭数（頭/母豚/年）	19.5頭/母豚/年	21.2頭/母豚/年	+1.7頭/母豚/年

2021年千葉県庁 Porker導入成果報告書サマリより

Before



現場でノートに記録し、事務所でExcelに転記

After



現場でスマートフォンで記録

Porker 導入事例

Porkerは日本全国100を超える養豚農場に導入実績があります。20～30代の若年層だけでなく、40～50代の中堅、ベテランの従業員まで幅広くご愛用いただいています。

項目	A農場	B農場	C農場
母豚規模	5,000頭	300頭	2,000頭
Porker導入前管理システム	海外製種豚メーカー販売品	国内製飼料メーカー販売品	海外メーカー販売品
記録担当者	20～50代（計約20人）	20～30代（計5人）	20～30代（計10人）
記録デバイス	主にタブレット	主にスマートフォン	主にスマートフォン
記録タイミング	繁殖側はほぼ現場、肥育側はほぼ管理棟	管理棟がメインで、一部現場	ほぼ現場
導入効果	・記録時間が大幅短縮 ・計画通りに豚を生産できるようになった ・母豚のグループ管理について、経験の浅い従業員に対する教育がしやすくなった	・コンサル獣医師との情報連携が早まった ・コンサル獣医師がデータを基に説明してくれるため、従業員がより納得感を持って現場作業ができるようになった	・台帳等の紙媒体が半減 ・現場の従業員の数字に対する意識があがり、成績改善意欲も向上 ・従業員と成績に関して議論ができるようになった（一方的な指示ではなく）
成績の変化	哺乳中事故率の改善 (10.4%⇒4.7%)	離乳頭数の増加 (12.2頭/腹⇒13.2頭/腹)	離乳頭数の増加 (11.3頭/腹⇒12.5頭/腹)

Porkerユーザーの声



D農場
農場長

Porkerの導入により、全農場（複数サイトに分かれて運営）の状況を全社員がリアルタイムで分かりやすく把握できるようになりました！
農場内の全員が繁殖から出荷までの流れで状況がつかめる為、業務へのモチベーション向上に大きく繋がっているように感じます。

農場内での業務の変更をする際に、Porkerを利用することで「なぜ業務変更の必要があるのか」を**数字を示して従業員に指導ができるので大変助かりました。**



E農場
役員



F農場
役員

農場内で記録をすることで、紙の使用量も月当たり数百枚、削減できました。またPorkerによって従業員全員が各自担当している豚舎の成績をスマートフォンで把握出来るようになり、従業員の数字に対する意識も向上しました。**以前のシステムにはもう戻れません！**

岩手県 株式会社アーク様

Porker導入のきっかけは？

当社は、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が主導した平成31年度アグリビジネス展開支援事業の一環としてPorkerの開発に協力し、そこからユーザーとなりました。

開発段階では、私たちの意見を真摯に受け止め、多くを反映してくれました。Eco-Porkの社長や社員さんからは日本の養豚業の発展に貢献したいという熱意と意欲が伝わってきました。より良い製品とするための意見交換を積極的に行い、私たちもそこで多くの事を学びました。



Porker導入により改善したことは？

導入前は各種数値を台帳に手書きしたものを電卓で集計、それをPCへ入力し、適宜印刷していましたが、経営規模の拡大などに伴い扱うデータ量が増加。時代の流れで、ICT化やペーパーレス化も進んできたので、効率化や業務改善の必要性を感じていました。

Porkerを導入してからは、**パソコンの入力作業が大幅に少なくなり負荷が軽減**。スマホやタブレットでいつでもデータが確認できるので、どこで何が起きているかを把握し即座に対応することができます。**複数の農場の状況がPorker上で一目瞭然**になりました。豚舎の異常を感じた場合はすぐに契約獣医師とデータをウェブ上で確認し合い、必要な診断や対応を指導いただくこともできるので、機動性が高まったと思います。

また、ベテラン社員の経験と勘に頼りすぎている、という課題もありました。当社は、20年前はベテランを中心に40～50名規模でしたが、現在は約160名の社員がいて若手の割合が高まっています。まだ経験がさほど豊かでないスタッフに、**経験と勘以外の判断基準を持ってもらう上で、Porkerが役立つ**と考えました。

安全・安心を守るために

当社は**農場HACCPとJGAP**の認証を取得しており、両認証の要件を生産工程の中に実装する必要がありますため**トレーサビリティや投薬履歴などに関する機能を活用**しています。例えば、**異物混入時には、生産工程を遡る追跡調査を実施**しますが、Porkerでは、これを速やかに行うことができます。

また、豚が病気になったときの**投薬の履歴**もきちんと残すことができます。これらの機能は**食の安全・安心の増進を支えるものであり、『食はいのち』という当社の創業時からの信念をシステムの担保してくれるため、本当に役立っています。**



千葉県 有限会社ブライトピック千葉様

Porker導入のきっかけは？

Porker導入以前は、現場で台帳に記入した情報を事務所でパソコンに入力していましたが入力作業に時間がかかるのが課題でした。複数の繁殖農場の場長や責任者で業務効率改善について話し合い、Porkerの導入を決定しました。



Porker導入により改善したことは？

従業員のスマホで入力・データ確認ができる、データを一括入力できるなど日々の作業負担が軽くなったと実感しています。農場内の希望する箇所にネットワークを敷設するPorkerコネクとも導入しました。敷地がかなり広く、豚舎と豚舎も離れているのですが、通信状況は快適で問題なく利用できています。LINE通話ですぐに連絡が取れるようになり、現場でデータ入力できるので本当に楽になりました。その場で入力できるので**ミスも減り、事務所まで移動して入力作業をする手間も時間も短縮**しました。

また、他農場との情報交換が円滑になりました。当社は繁殖農場が複数農場ありますが、各農場の成績をPorkerで確認しています。**データを共有することで改善につながるポジティブな話し合い**ができるようになりました。数字が良くなれば何をしたのか聞き、悪くなれば何があったのか聞くことができます。私が見ているということは、他農場から見られているということ。「変な数字は出せないぞ・・・！」というよい緊張感につながっています。

今後の目標は？

国産飼料にこだわった当社の豚肉は、本当に美味しいです。良い豚を育てて美味しい豚肉を提供するためには、働く人を集める必要があり、そのための労働環境の整備も進めています。

養豚業界の3Kのイメージを改めるためIoT化を進めて毎日の業務を効率化したり、業務計画を立てて有給休暇を取りやすい環境を整えています。PorkerやPorkerコネクトの導入はその一環です。仕事は仕事、休みは休み。休みを楽しめない、いい仕事はできません！

IoTの活用で豚に向き合う時間を確保し、現状をどう改善するか考え、業務に落とし込んでいくのが私の仕事です。**成果を上げることで仕事の楽しさを感じられる、働きたい人が集まる職場にしたい**ですね。



Porkerセンサーシリーズ

手軽に設置できるセンサーで飼養環境を見える化。異常時はアラート機能（SMS、メール）でお知らせ。

・ 温湿度センサー



防水、防塵規格（IP65）



設置イメージ

・ 温湿度・CO₂センサー



設置イメージ

特徴

- ・ 設置豚舎の温湿度、*CO₂濃度を一定間隔でモニタリング *温湿度・CO₂センサーのみ
- ・ 適温上限値、下限値の設定が可能
- ・ 空気熱量指数による温湿度管理も可能
- ・ 分析機能を活用した事故発生原因調査ができる
- ・ 電源不要、豚舎内のどこでも設置可能な乾電池式

Porkerとの連携

①豚舎の異常を検知



環境モニタリングボードで状況確認。
豚舎ごとに設定した上限・下限の閾値を超えると SMS、メールで通知

※水位センサー、漏水センサー等も展開中
※別途機器購入代金がかかります。Porker0 プランをご契約の場合、年間利用料が発生
※一定数以上の機器をご利用の場合は「Porker1」「Porker2」「Porker3」プランがお得

②異常検知で即座にアラート通知

Porker確認コード 112929

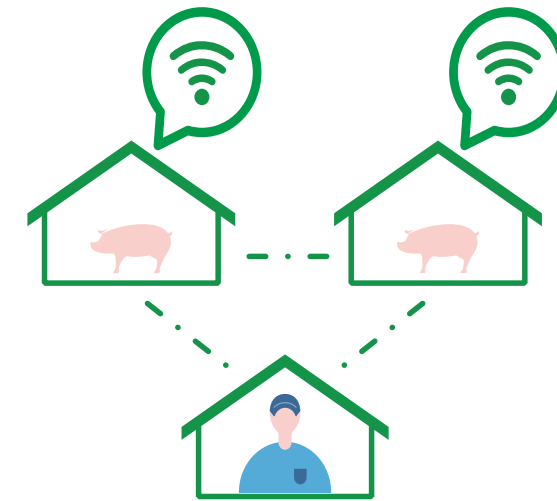
A農場のIoT環境センサが異常値を検出しました。

https://porker.cloud/iot_alerts/3



Porkerコネクト

事務所などのインターネット回線を無線などで中継し、**既存豚舎でWi-Fiが使える**ようになるサービスです。豚舎と豚舎が離れていても、ウィンドレス豚舎でも敷設可能。



導入事例

Before

事務所のネットワークが豚舎に届かず、携帯回線を複数契約。
毎月のコストを考えると、初期費用は高いが光回線の工事が必要か悩んでいた。

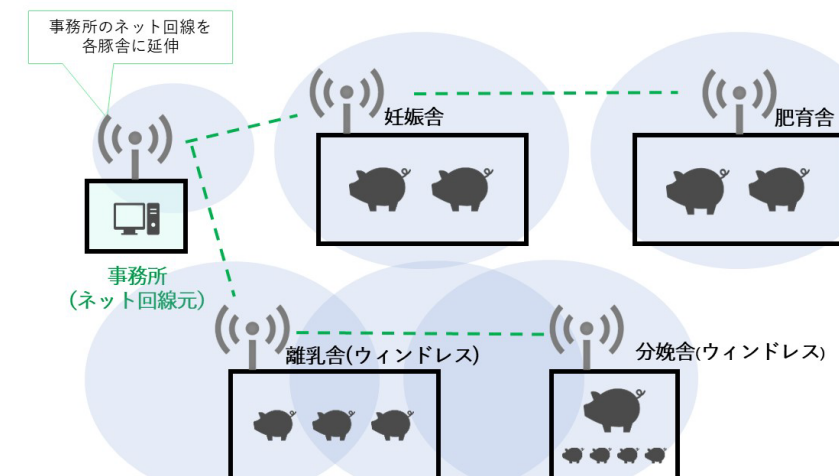
Porkerコネクトを導入。事務所のインターネット環境を農場全域に延長。

Wi-Fiがどこでも利用可能に。

After

農場で契約していた携帯回線を全て解約。
年間20万円程度のコスト削減！

設置イメージ



豚舎にアンテナを取付けるだけ、大がかりな工事がないので導入費用を抑えることができました。通信も問題なく、特に**電波が入らなかった分娩舎（ウィンドレス）でインターネットが使えるようになったのは、とても驚きました。**オプションのネットワークカメラで、豚舎や豚の様子が携帯でリアルタイムに確認できるのも、インターネットの活用の幅が増えて満足しています。



農場
肥育担当

Data company
for sustainable
Pork Ecosystem



Eco-Pork

養豚経営支援システム「Porker」

各種センサー連携
「Porkerセンサーシリーズ」

各種制御機器連携
「Porkerコントローラーシリーズ」

完全自働型体重測定カメラ
「AI豚カメラ」

豚舎内ネットワーク敷設サービス
「Porkerコネクト」

精子・精液分析装置
「iSperm アイスパーム」

超音波画像診断装置
「iScan P アイスキャンピィ」

背脂肪厚測定器
「iScan F01
アイスキャンエフゼロワン」

○iSpermは外国製造業者のAidmics Biotechnology Co.,Ltd(億觀生物科技股份有限公司)の商標または登録商標です。○iScanPおよびiScanF01は輸入業者のミツハナ株式会社が商標申請予定です。○「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの商標または登録商標です。○その他の本冊子掲載の会社名・商品名は、弊社の商標または登録商標です。○本冊子掲載のサービス内容は予告なしに変更する場合があります。○本冊子記載のお問合せ先は予告なしに変更する場合があります。○本冊子内の画面、画像はイメージです。○本冊子から許可なく転記、複写する事を固く禁じます。

(Porkerパンフレットver.4)

株式会社 Eco-Pork

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21-7

TEL : 080-9945-1129 (お電話受付時間: 平日 10:00-12:00 / 13:00-18:00)

Mail : info@eco-pork.com



公式LINEで
お問合わせ



公式HPは
こちらから